

令和3年度

生活習慣実態調査の結果報告

実施主体：健康かごしま21地域推進協議会
調査分析：名瀬保健所

調査の方法

対象

- ・ 小学校・中学校・高校・専門学校の学生
- ・ 保育所・幼稚園・子ども園の園児
- ・ 職場の健康づくり賛同事業所の従業員

期間

- ・ 令和4年1月～2月

項目

項目	朝食抜き	喫煙	飲酒	睡眠
対象	3歳以上の男女	20歳以上の男女	20歳以上の男女	20歳以上の男女

解析：集計①＋集計②の合算

集計①

- ・対象事業所等に調査票を配付，回収し，集計。
- ・調査票は，特定健康診査「標準的な質問票」に準ずる。

集計②

- ・管内市町村が実施する特定健康診査質問票調査結果から集計。

結果

➤ 調査票の配付箇所・回答数

	配布箇所	提出箇所	回答数
保育所・幼稚園・こども園	21	20	1522
小学校	48	48	3646
中学校	27	27	1803
高校	7	7	1517
専門学校	2	2	71
事業所	92	64	2222
計	197	168	10781

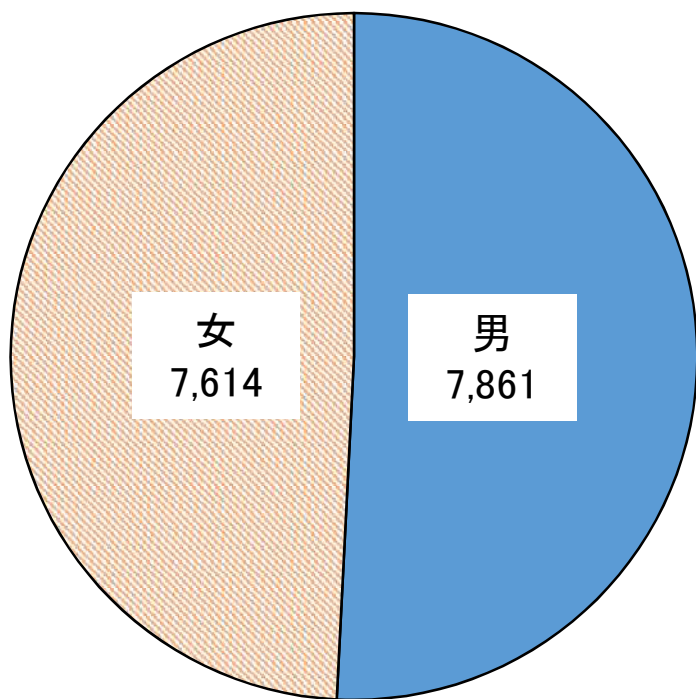
➤ 国保特定健診質問票調査結果回答数

	奄美市	大和村	宇検村	瀬戸内町	龍郷町	喜界町	総数
回答数	2,387	214	120	812	478	683	4,694

(40歳以上)

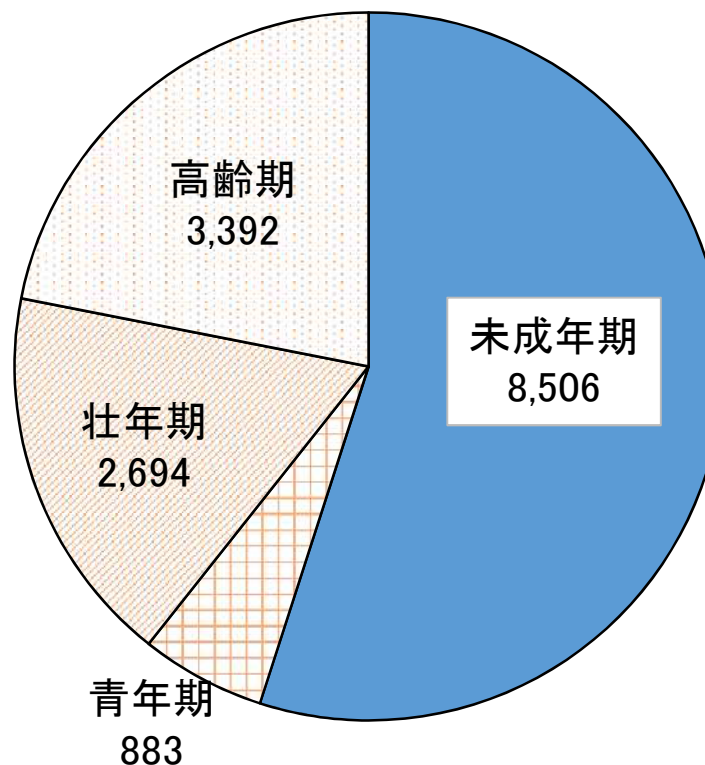
属性

男女比



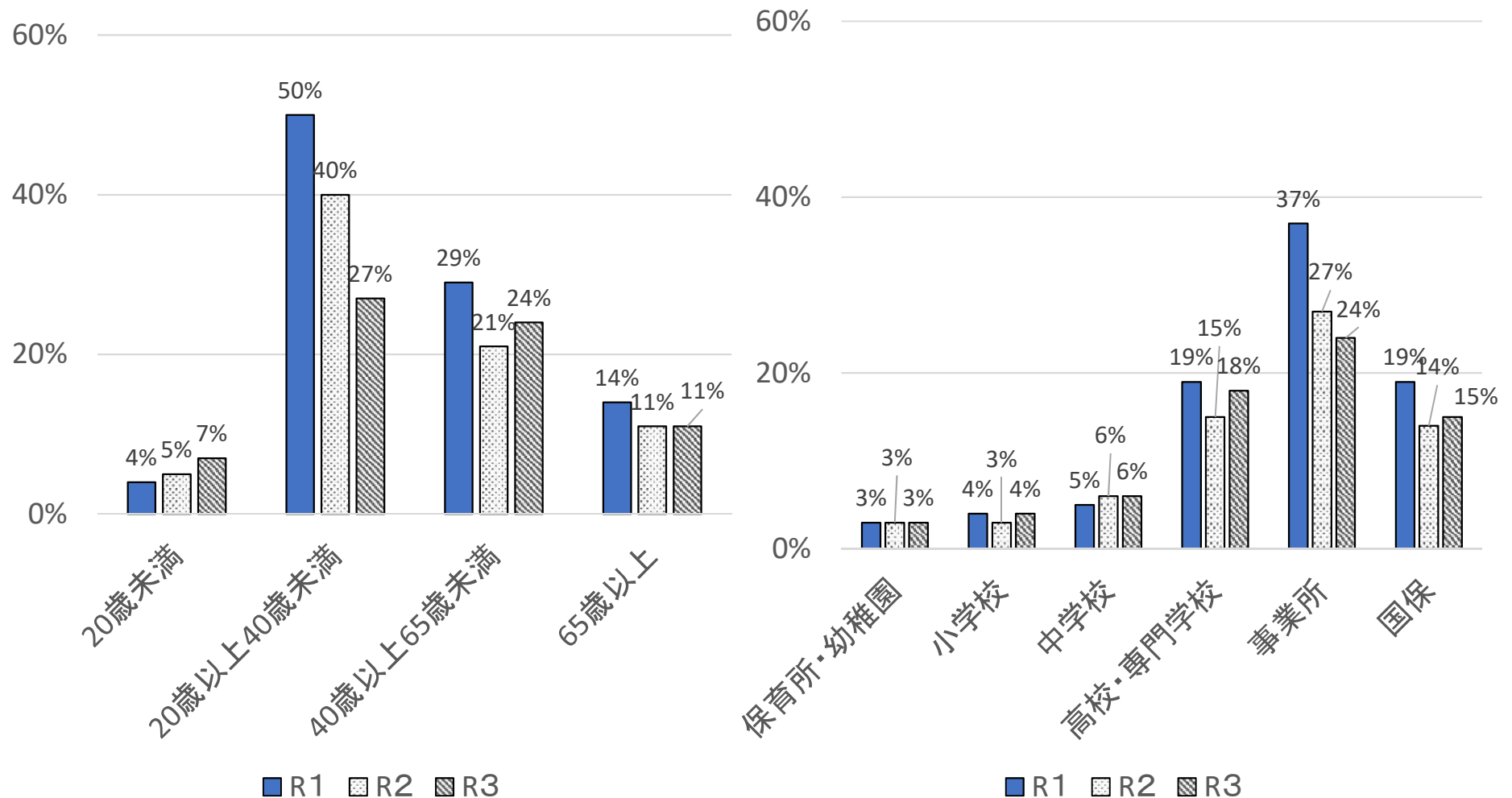
未成年期：3歳以上20歳未満
壮年期：40歳以上65歳未満

年齢構成比



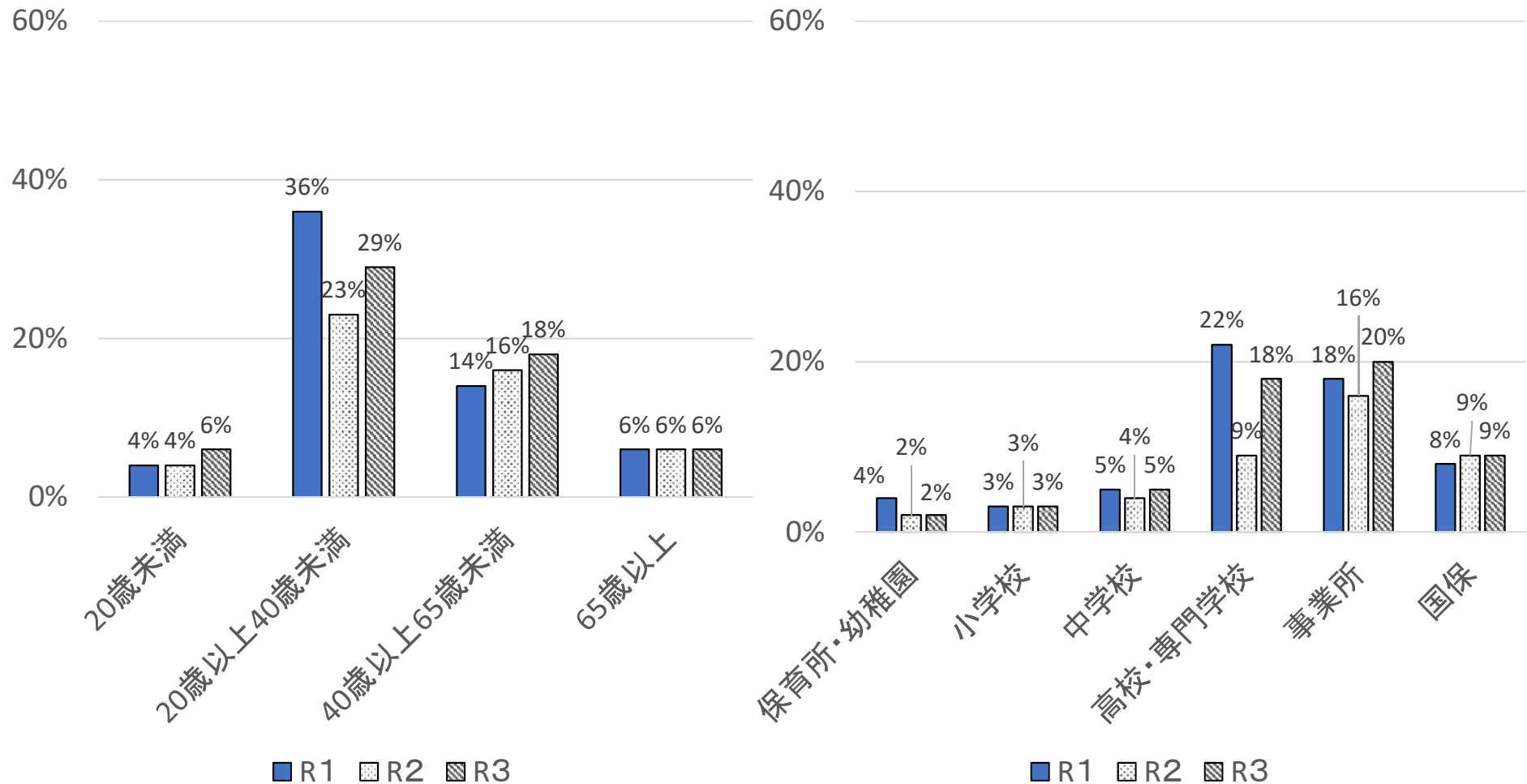
青年期：20歳以上40歳未満
高齢期：65歳以上

朝食を抜くことが週に3回以上ある(男性)



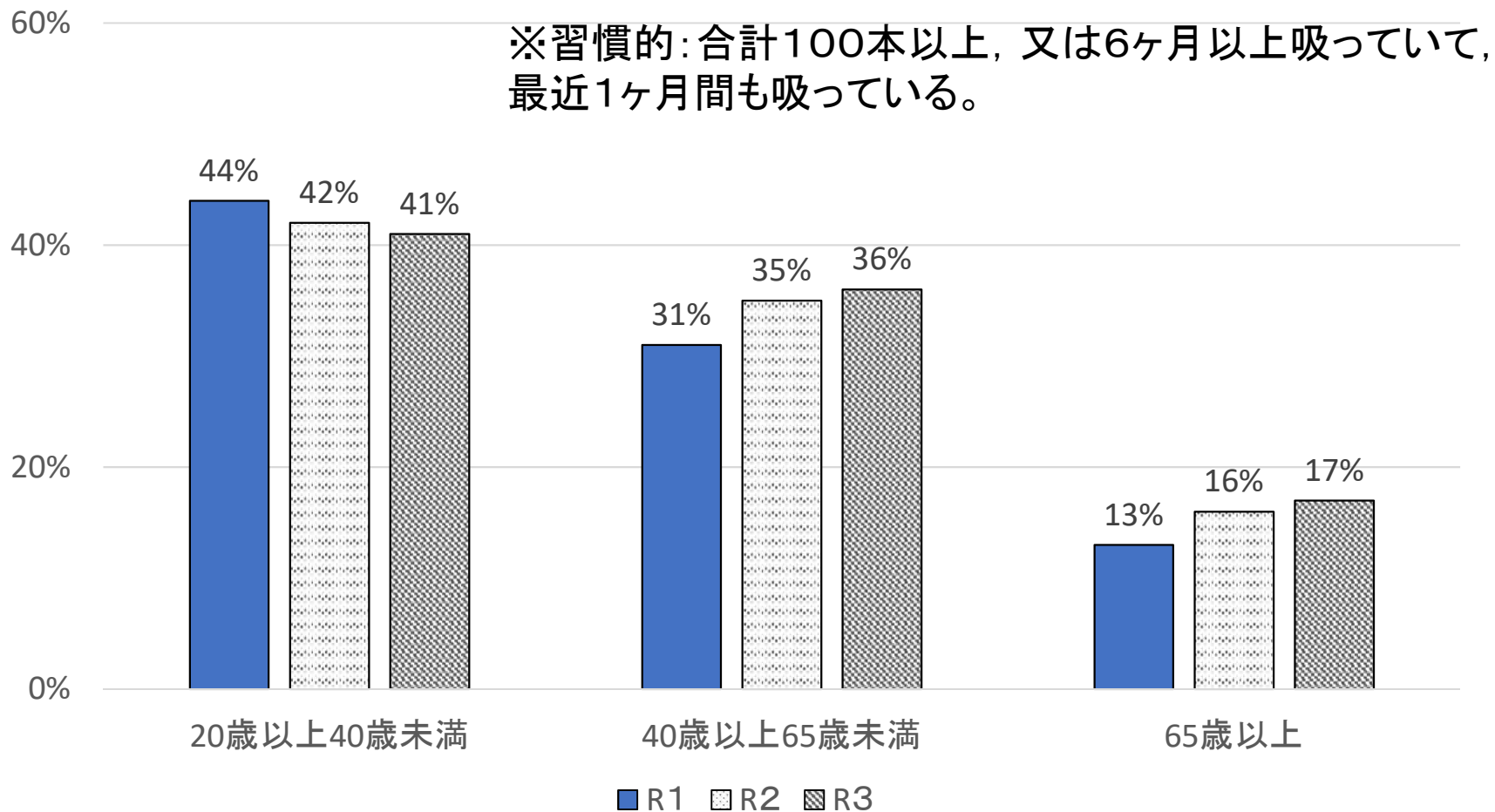
青年期の約3割が朝食を抜くことが週3回以上ある
高校進学後、割合が増加

朝食を抜くことが週に3回以上ある(女性)



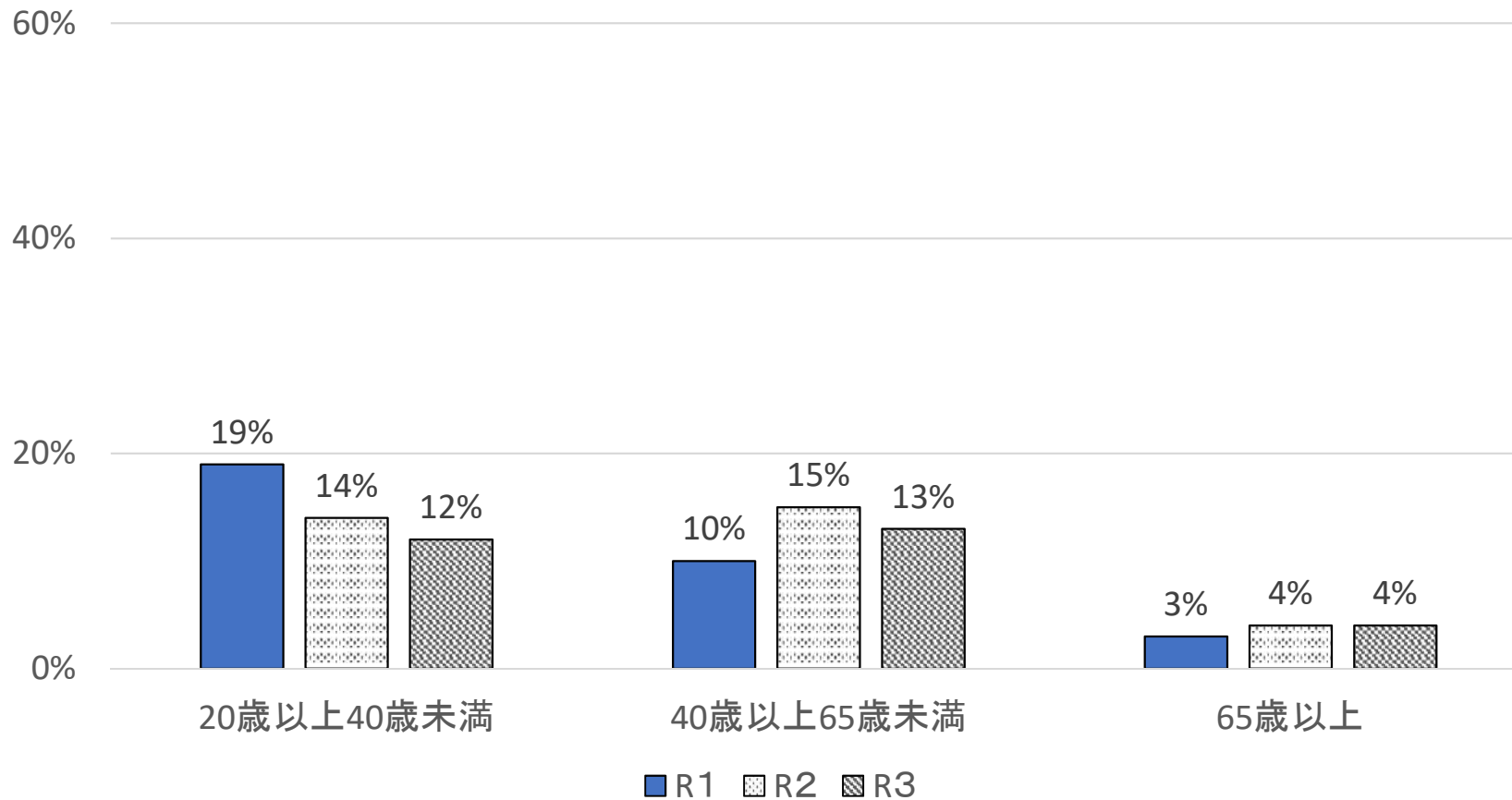
青年期の約3割が朝食を抜くことが週3以上ある
 高校進学後、割合が増加

現在、たばこを習慣的に吸っている(男性)



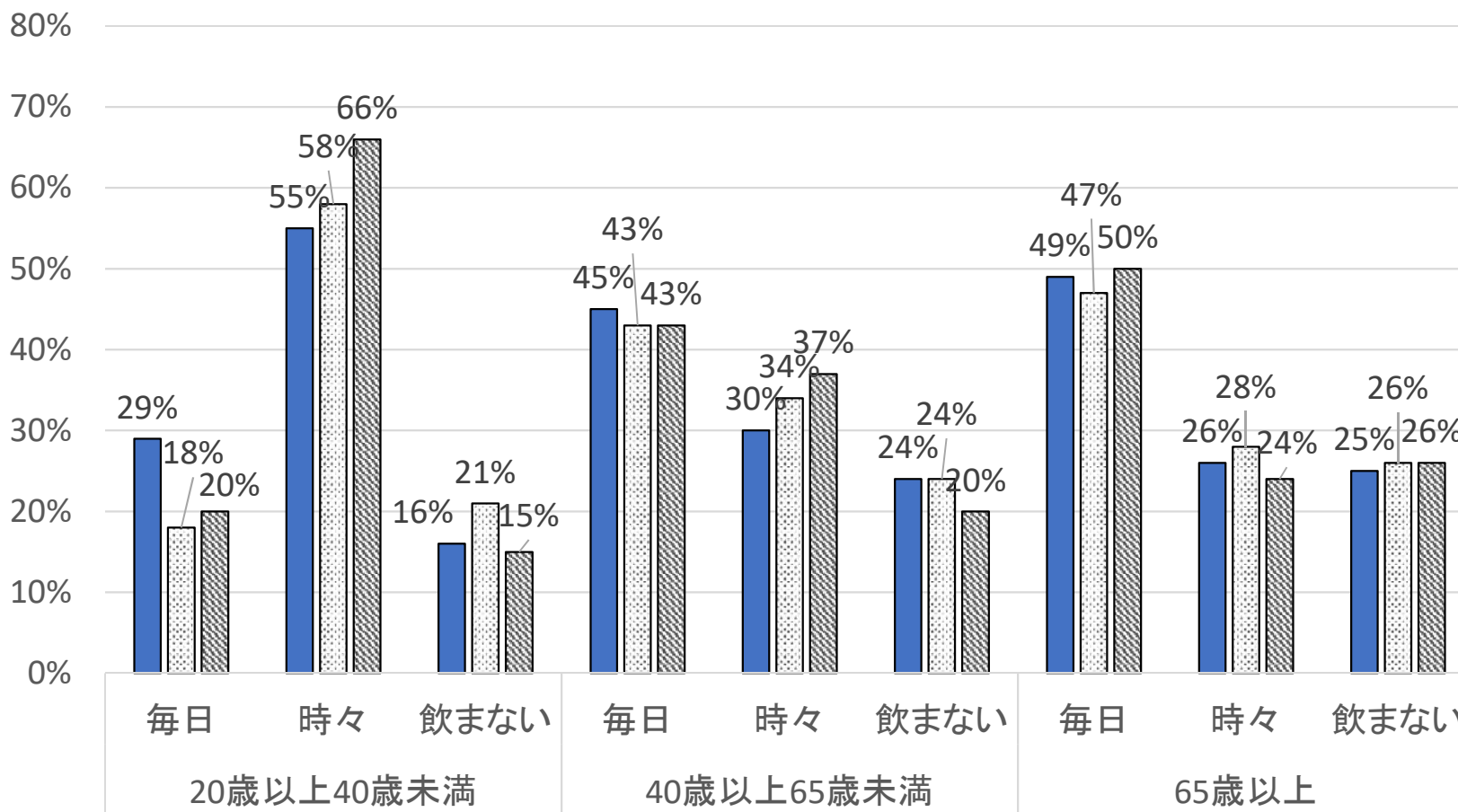
青壮年期で約4割が習慣的に喫煙している

現在、たばこを習慣的に吸っている(女性)



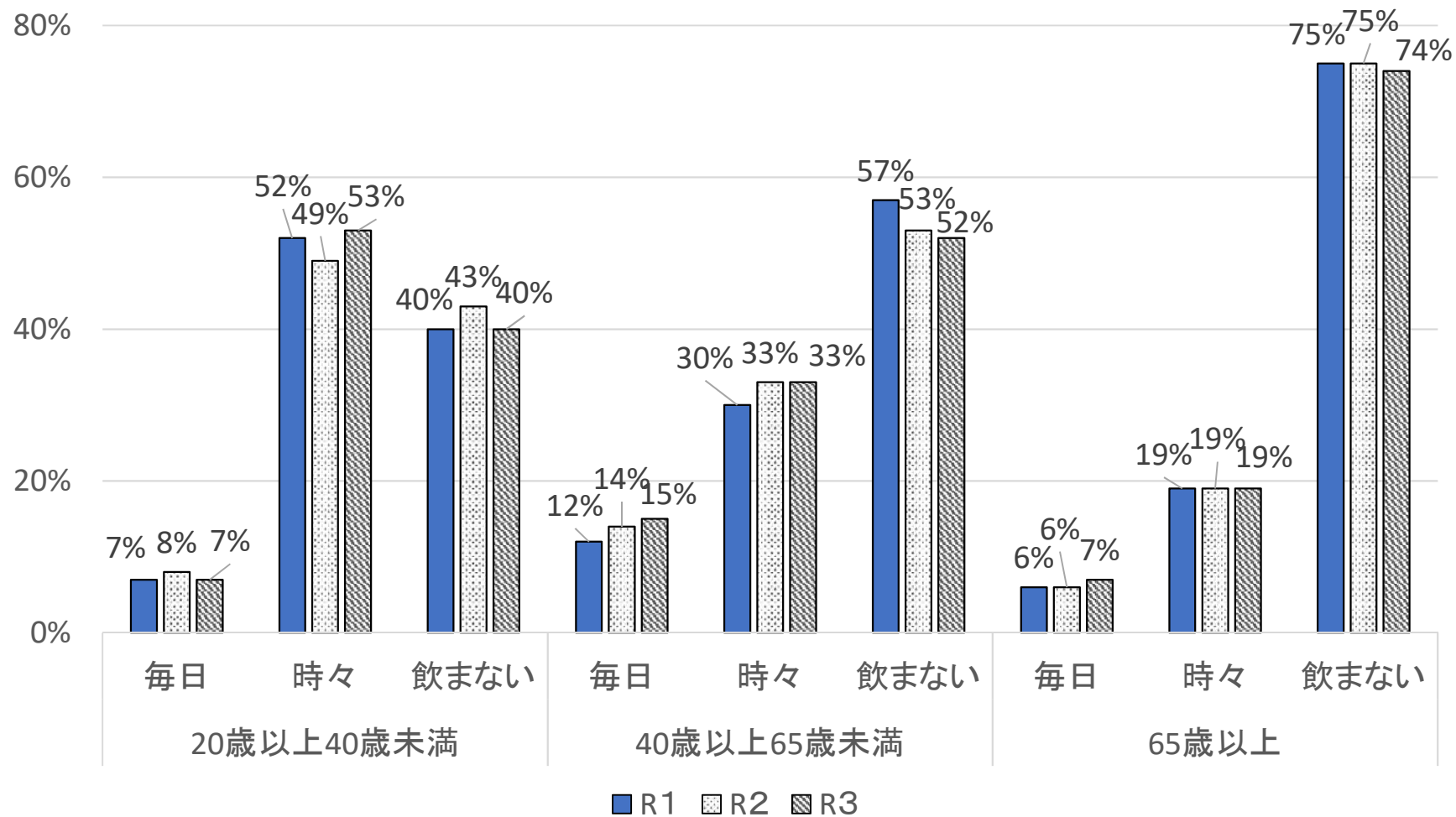
青壮年期の約1割は習慣的に喫煙している

飲酒の頻度(男性)



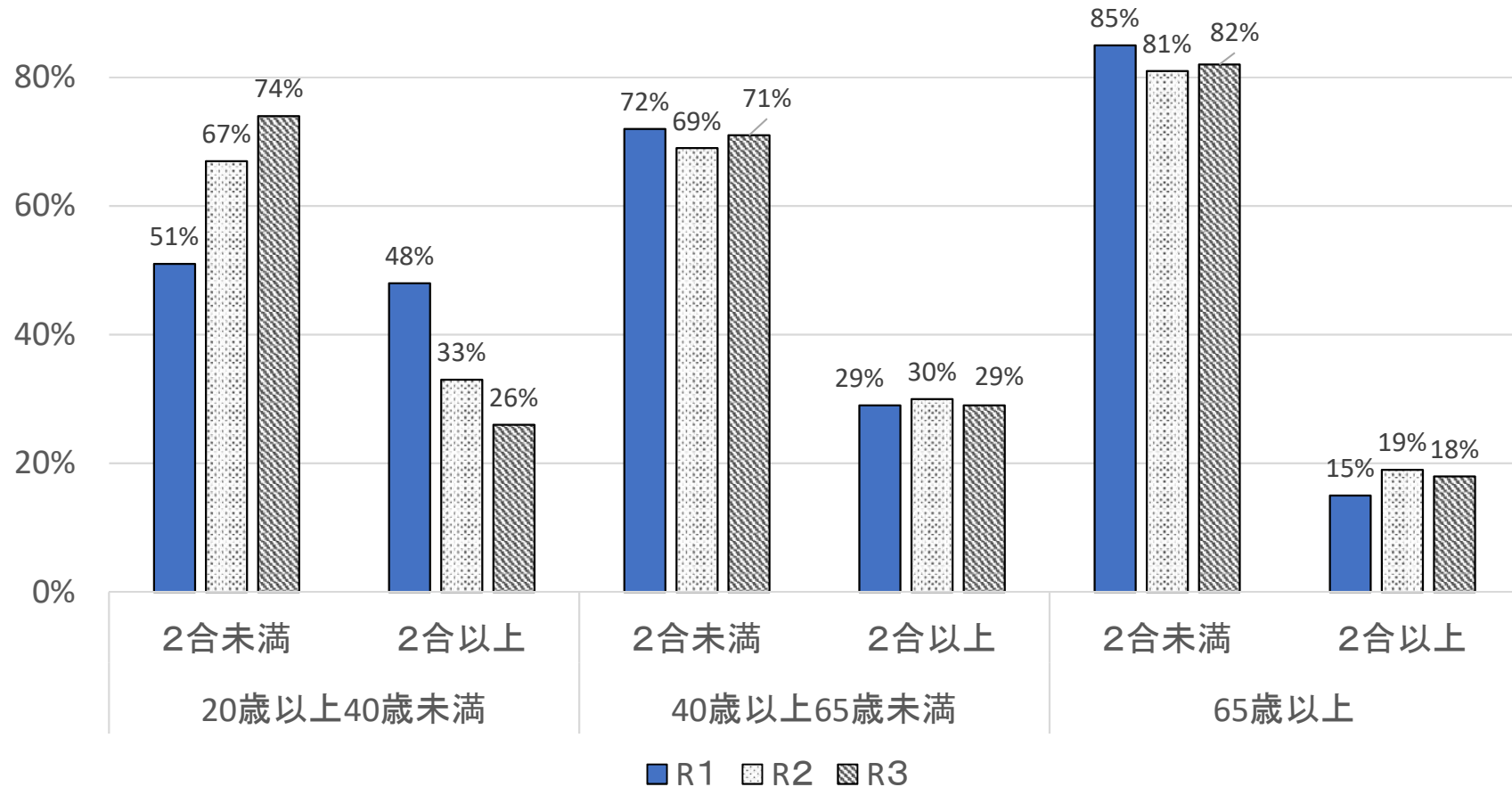
青年期:「時々飲酒する」が高い
壮年期と高齢期:「毎日飲酒する」が高い

飲酒の頻度(女性)



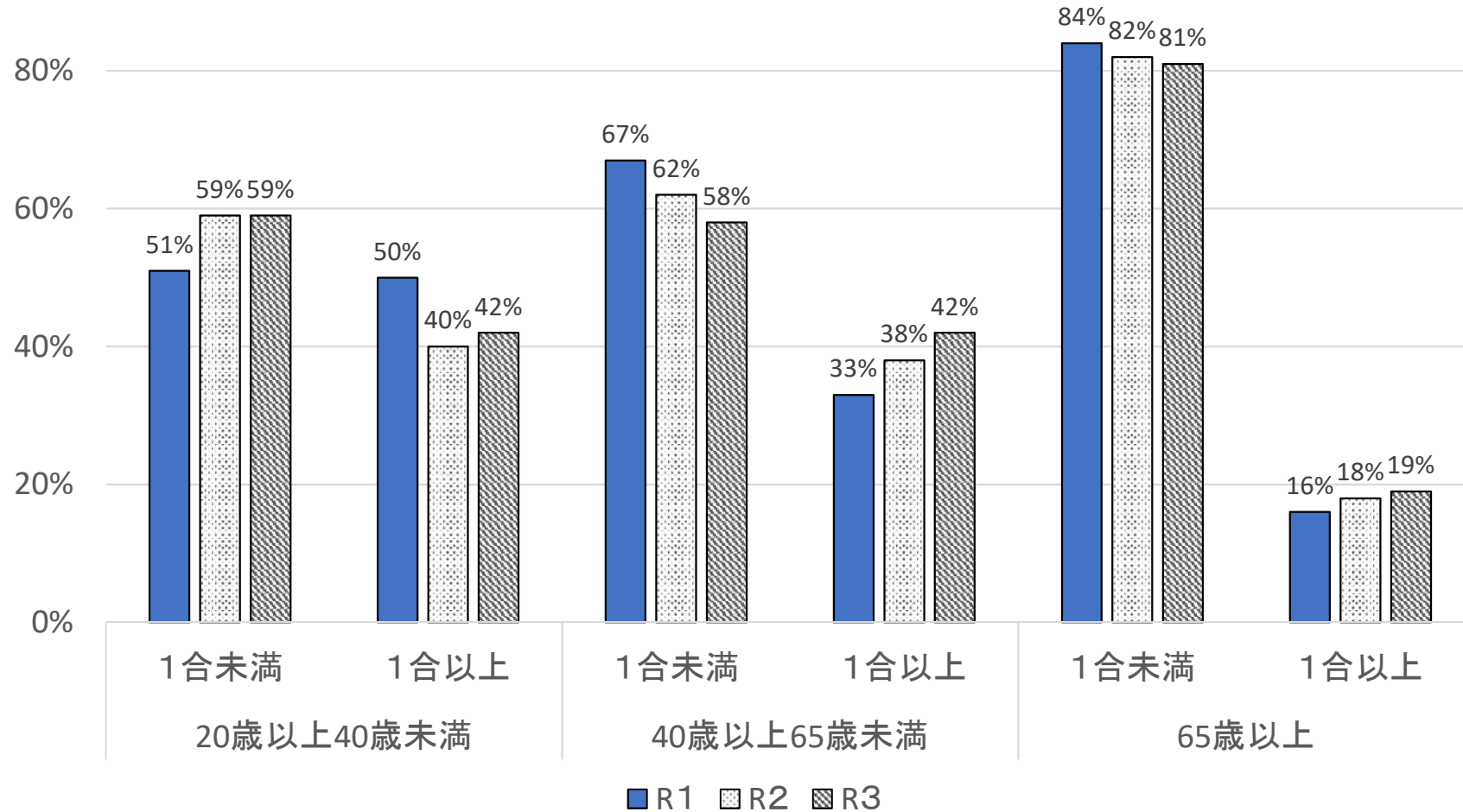
青年期:「時々飲酒する」が高い
壮年期・高齢期:「飲まない」が高い

1日あたりの飲酒量(男性)



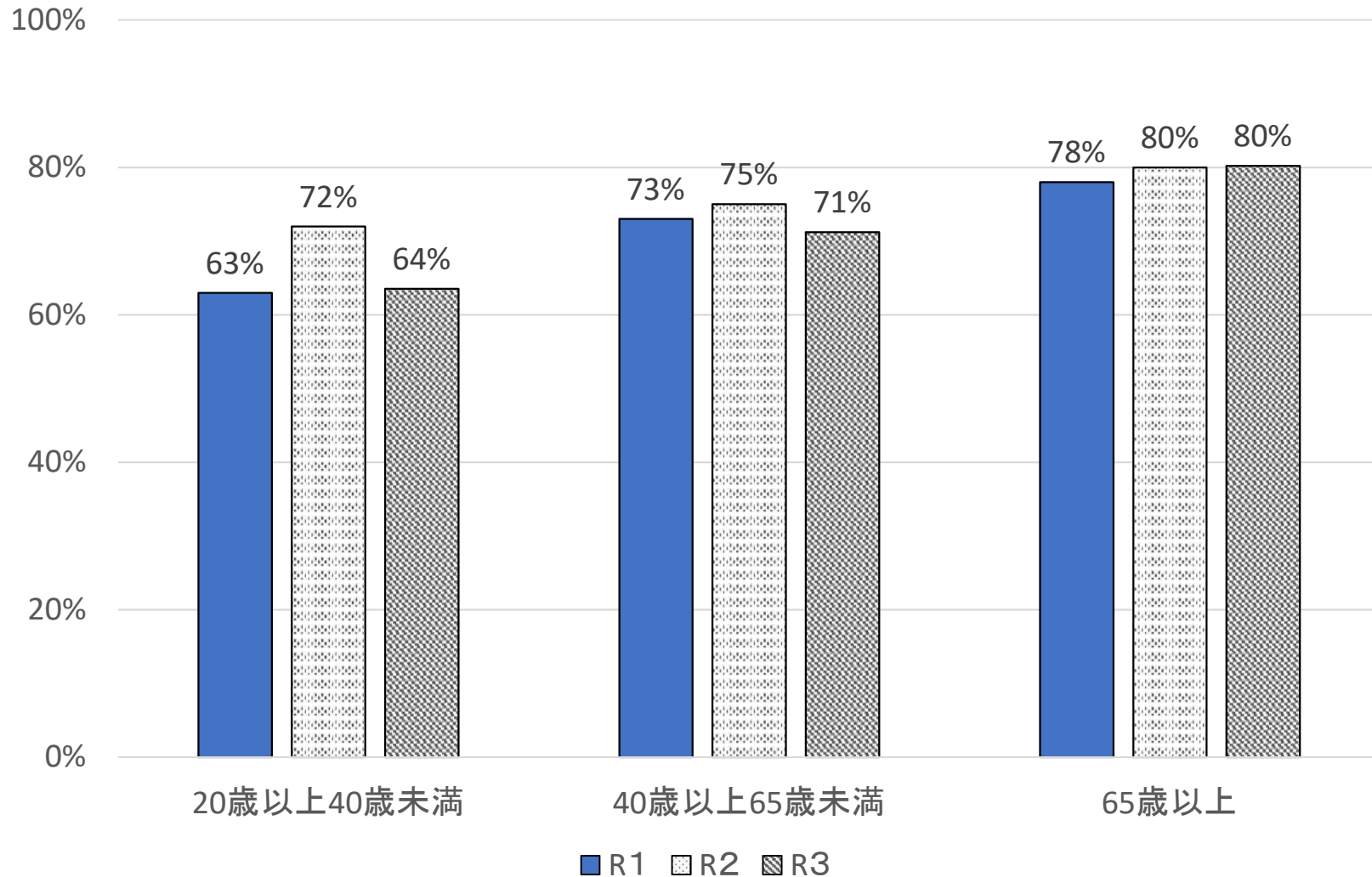
青壮年期の約3割が生活習慣病リスクを高める飲酒をしている
※生活習慣病リスクを高める飲酒(男性): 2合以上

1日あたりの飲酒量(女性)



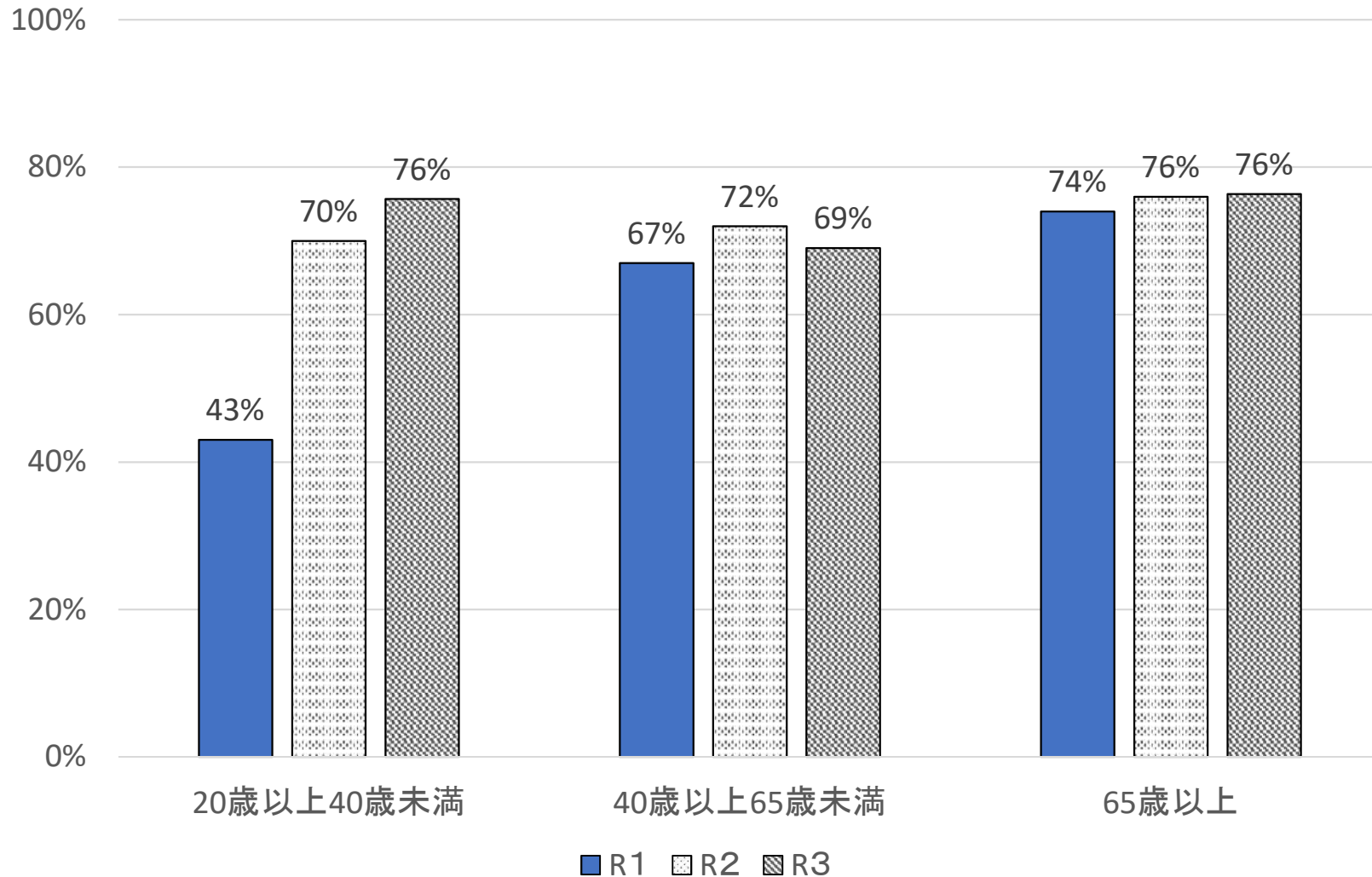
青壮年期の約4割が生活習慣病リスクを高める飲酒をしている
※生活習慣病リスクを高める飲酒(女性): 1合以上

睡眠で休養が十分とれている(男性)



青壮年期・高齢期で半数以上が睡眠で休養が十分とれている

睡眠で休養が十分とれている(女性)



青壮年期・高齢期の半数以上が睡眠で休養が十分とれている